

## 平成 29 年度 淡路支部報告（研究大会）

- 1 日 時 平成 29 年 10 月 27 日（金曜日）14 時～16 時 30 分
- 2 場 所 淡路市立東浦図書館（淡路市立サンシャインホール）  
住所：淡路市浦 148-1
- 3 内 容 淡路地区学校図書館教育研修会
  - ・講演会
  - ・淡路市立東浦図書館（見学）
  - ・各地区情報交換会（洲本市、南あわじ市、淡路市各校担当者）
- 4 講 師 神戸松蔭女子学院大学 教授 秋田久子 氏
- 5 参加者数 淡路支部 中学校（16名）小学校（42名） 計58名
- 6 事例、感想、参考文献等  
（事例：講演内容）

淡路地区学校図書館教育研修会（平成 29 年 10 月 27 日（金）実施）



・NIE の活用の実践例を伺いとても参考になった。

### (1) 講演内容

- ・NIE との出会い……学校学力と社会の求める学力との乖離に気づく
- ・「便利」の中で消えるもの……世間、社会、繋がり、そして『私』
- ・次期学習指導要領に思うこと
- ・図書館と NIE との連動について……「つながり」実感の仕掛けの後押し

### (質疑応答)

- ・NIE の活用の実践例を伺いとても参考になった。今後も、多くの実践例をお伺いしたい。（要望）

### (2) NIE ワークを体験

上記写真掲載

- ・提示された同内容の新聞紙（A3 判）を各受講者が手にして、ワーク体験を行った。

(参加者感想)

- ・講師の学校現場で経験された事例をもとに、学校図書館教育の進め方・取組例が紹介され、小・中学校でも取り組もうと感じた。
- ・主体的な学習とは？そんなことを教員として考えさせられた時間でもあり、閉ざされた授業から、新聞と図書館の共通点などの紹介から、日々の授業を見直すきっかけをいただいた。
- ・講演テーマ「学力と心を育てる図書館」と掲げられているように、図書館が育てるものがよく理解できた。
- ・近未来の日本として、資料で想像してみるものの大切さを教えていただいた。
- ・国語教師としての生きざまと、図書館（本）から学ぶことの大切さを教えていただいた。
- ・NIE 代表としての取り組みや、新聞活用のポイントを指導していただいた。紙面から、記事の重要性や記事同士を比較する視点などを教えていただいた。小・中学校でも活用でき、いや活用しなくてはならないと感じた。
- ・最新情報を入手するにしても、ICT 活用と新聞活用の違いを教えていただきとても納得のいく内容であった。
- ・小学生新聞と連携するための意識を再認識することができた。
- ・個々に応じた子どもの学力向上意識をつけさせるための工夫について、具体的に説明していただいた。とても参考になり、学校現場で実践しようと思った。



(地区交流)

- ・洲本市、南あわじ市、淡路市内の各地区担当者会を実施し、今後の取組を確認した。
- ・洲本市小学校図書館教育担当者が毎学期発行している全保護者対象の「図書だより」を紹介していただき、各地区での図書館教育担当者のよき参考となった。



(淡路市立東浦図書館の見学)

- ・参加者が、各研修後に東浦図書館を見学した。  
(図書館長から、イベントや各種取組の説明を受ける。)